

ならちゅうしん経営研究会 例会報告

第 337 回 研究会 会員企業訪問

日 時 令和元年 9 月 18 日(水) 午後 3 時 45 分 ~ 午後 5 時 45 分
場 所 玉井産業 株式会社
内 容 1部 玉井産業 株式会社 会社見学
2部 ご講演
代表取締役 玉井 良一氏
専務取締役 玉井 久実代氏

今回の研究会は、会員企業であります玉井産業株式会社さんを訪問させて頂きました。当社は、昭和 21 年に創業され今年で 73 年目をむかえる歴史ある企業で、「快適に歩こう」をテーマに、流行を捉えたデザイン性のみならず、快適に履いて頂くための機能性を備えたものづくりを目指し、世代を問わず万人に愛される商品の開発に努めておられます。

(1 部 会社見学)

1 部は、会社見学として倉庫をご案内頂きました。当社は履物の企画製造会社として全国の小売店にシューズを販売しています。多様な消費者のニーズに応えるため、ファッション性、デザイン性、機能性に富んだ豊富な商品を製造しておられます。商品毎に、違った色、サイズのラインナップが必要とされるためアイテム数は膨大です。多くの商品が整然と並び、出荷を待つ様を見学させて頂きました。また見学に併せて、参加者 1 人ずつに、当社商品のシューズをプレゼント頂きました。



1 部 会社見学

(2部 ご講演)

続いての2部は、玉井社長と玉井専務よりご講演を頂きました。

まず、玉井社長より「創業から 未来への歩み」と題して、お話を頂きました。創業時からの歩み、今年で54年になる職歴で玉井社長が学んだこと、又、改善してきたこと、そして今後の歩みについて、営業活動、新規開拓、信用調査、社員教育、商品開発といったフェーズに分けて、経験談や具体的な資料の紹介も取り入れてお話を頂きました。最後に「田舎にある小さな会社だけど、キラリと光る会社でありたい」そのためには、企画力、社員レベル、提案力と、会社全体のレベルを上げて行きたい。そして「腹八分目の経営を続けたい」これは、規模の拡大を目指すのではなく身の丈にあった商売をしていくということで、時としてブレーキをかける勇気が必要とのことです。経営者として長年会社を牽引して来られた経験に基づく重みのあるお言葉でした。

続いて、玉井専務より「事業を承継する立場として、思っている3つのこと」を中心に、お話しを頂きました。1つめは「自分でやって良かったこと」です。まず専務が玉井産業に入社するまでの経緯をお話し頂きました。大学を卒業して森精機に入社され、財務セクションのスペシャリストとして活躍、そして米国シカゴ駐在を任命され現地で役員秘書も務められました。そのような前職で自分がやってきた経験が非常に役に立っているとのことでした。2つめは「ありがたいと感謝していること」です。社長がこれまで築いてこられたお取引先や金融機関、そして経営研究会の皆様との良好な関係が本当に有り難いとのことでした。3つめは「出来れば、こうして欲しかったと感じていること」として、番頭的な社員がいないため玉井産業に入社してから、様々な苦労があったとのことでした。そして専務ご自身の人材育成に対する思いをお話し頂き、最後に脚本家の中園ミホさんの言葉を紹介頂き、社長の意志を継いで細く長くコツコツと努力して身の丈に合った経営を心掛けて行きたいとのお話でした。

ご講演のあとの質疑応答では、参加者の皆様からの質問に加え、玉井専務と同じ立場にある女性後継者の皆様より一言ずつ感想をご発言頂きました。玉井社長、玉井専務ならびに玉井産業の皆様ありがとうございました。



2部 ご講演